

営農ウィークリーNEWS

京都光華女子大学短期大学部 との 地域連携活動を実施!



10月10日、淀支店管内にて農産物生産現場での研修会を開催しました。

今回、京都光華女子大学短期大学部の地域連携活動の一環として、同大学部ライフデザイン学科の学生8人を対象に農業分野でのフードロス問題をテーマに学生が課題を発見し、自ら考え行動することを学ぶ目的で開催しました。

当日は、「九条ねぎ」、「京おくら」の栽培生産者の指導により、栽培ほ場や出荷調整作業を見学し、生産現場での課題から、近年の異常気象に対応する栽培技術の工夫などを学生に学んでもらいました。

また、「京おくら」栽培ほ場では、収穫体験も実施しました。

今後、参加した学生は生産現場での課題や自らの気づきを基にフードロス問題について取りまとめ、2024年1月に報告会などを計画されています。

学生が考える新たな工夫や豊かな発想などが、生産現場の課題解決になることに、大きな期待が寄せられます。今後が非常に楽しみです!

TAC information



ボトルに記載されたRACコード

RACコードは、製品ラベルや、チラシなどに表示されています。
※すべての農薬製品にRACコードが掲載されているわけではありません。

知っていますか?

「RACコード」



RACコードとは、世界的な農薬製造会社の国際団体が定めた農薬の分類コードの事で、同じ作用性の農薬グループを一つにまとめて、それぞれの農薬にコード番号を付けています。

殺虫剤は「IRAC」、殺菌剤は「FRAC」、除草剤は「HRAC」といいます。

農薬による耐性・抵抗性は、同一農薬、同一系統の薬剤の連用がその発生要因であると考えられています。RACコードを参考にして、同じ系統の農薬の連用を避けてください。

※RACコードは、農薬工業会のHP等でも確認することができます。

病害虫発生予察情報について

下記のとおり発表しましたので、送付します。

発生予察特殊報第 1 号

病害虫名 トマトキバガ *Tuta absoluta* (Meyrick)
発 生 地 域 京都府内

1 発生経過

- (1) 令和 5 年 9 月 28 日、京都府北部の野菜畑に設置したトマトキバガ侵入調査用フエロモントラップに本種と疑われる雄成虫が捕獲された(写真 1)。農林水産省神戸植物防疫所に同定を依頼し、府内では未発生のトマトキバガと同定された。
- (2) 10 月 5 日及び 6 日、京都府南部及び中部に設置したフエロモントラップでも本種の誘捕を認めた。
- (3) 本種は、令和 3 年に熊本県の施設トマトにおいて国内で初めて発生が確認された。以降、令和 5 年 10 月 11 日現在、国内 27 道県で発生が確認されている。

2 形態及び生態

- (1) 本種はチョウ目キバガ科に属し、成虫は、翅を用いた静止時で体長 5～7 mm (前翅長約 5 mm、前翅幅 10 mm)。前翅は灰褐色の地色に黒色斑が散在する。後翅は一律に赤黒褐色である(写真 2)。
- (2) 幼虫は、終齢で体長約 8 mm。体色は淡緑色～淡赤白色。頭部は赤褐色。前胸の背面後方に細い黒色横帯がある(写真 3)。
- (3) 年に複数世代が発生し、繁殖力が高い。発生世代数は環境条件によって異なり、地域によって差はあるが、年に 10～12 世代発生する地域もある。
- (4) 卵～成虫になるまでの期間は 24～38 日程度で、気温が低い時期はさらに延びる。
- (5) 成虫は夜行性で、日中は葉の間に隠れていることが多く、雌は一生のうち平均で約 260 個の卵を番主植物の葉の裏面などに産み付ける。

3 被害の特徴

- (1) 主な寄主植物はトマト、ナス、ピーマン、トウガラシ、パセリ、ジャガイモ等のナス科植物で、ナス科植物のインゲンマメも寄主植物として確認されている。
- (2) トマトでの被害は、茎葉では内部に幼虫が潜り込んで食害し、孔道が形成される。食害部分は表面のみを残して薄皮状になり、白～褐変した外観となる(写真 4)。果実では、幼虫がせん孔侵入して内部組織を食害するため、果実表面に数 mm 程度のせん孔痕が生じるとともに食害部分の腐敗が生じ果実品質が著しく低下する(写真 5)。

4 防除対策

- (1) 仕場内をよく見回り、見つけ次第捕殺する。
- (2) トマトキバガの発生が疑われた場合は、速やかに最寄りの農業改良普及センター、病害虫防除所に連絡する。
- (3) 発生を拡大させないため、薬剤散布を行うとともに、被害葉や被害果実にはほ場に放置せず、速やかに土中に深く埋没するか、ビニル袋などに入れて一定期間密閉し、発生した成幼虫を全て死滅させ、適切に処分する。
- (4) 令和 5 年 10 月 1 日現在のトマトキバガに対する登録農薬は表のとおり。なお、薬剤散布にあたっては、最新の農薬登録情報を確認し、薬剤抵抗性の発達を防ぐため系統が異なる薬剤のローテーション散布を行う。

<参考文献>

植物防疫所病害虫情報 No.127、農林水産省植物防疫所 (2022 年 7 月)



写真 1 誘殺されたトマトキバガ成虫



写真 2 トマトキバガ成虫



写真 3 トマトキバガ幼虫



写真 4 トマト葉の食害痕(飼育個体)



写真 5 トマト果実の食害痕(飼育個体)

(注) 写真 2～5 は農林水産省「植物防疫所病害虫情報 No. 127」原図無断転載を禁ずる。

新たな害虫が京都府で確認されました！
みなさま注意をお願いします。